平成 2 4年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

1.	機関番号	1 4 6 0 3	研究機関名	良先端科学技術大学院大学
3.	研究種目名	基盤研究(C)	4. 補助事業期間	平成22年度~平成24年度
5.	課題番号	2 2 5 0 0 0 2 8		
6.	研究課題	開発タスク計測・可視化システムの開発と記	评価	

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研究代表者名	所属部局名	職名
	モンデン アキト 門田 暁人	情報科学研究科	准教授

8. 研究分担者

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名

9. 研究実績の概要

開発したシステムを用いてデータ計測を行い,システムの改良を行った.特に,システムの利便性の向上,および,多言語対応を行うとともに,ユーザマニュアルを作成し,さらなる普及を進めた.また,計測データを分析し,システムの有効性を評価した.特に,タスクの実測時間,計画時間,および,タスクに要した推定時間を用いて,システムを継続して使用した場合の効果を評価した.もるツソトウェア開発企業における開発者を対象として,約2週間にわたって計測を行った結果,システムを使い始めた当初はタスクに要した時間を過大見積もりしていたが,次第に実測値に近づくようになった.このことから,主観的な作業時間と比べて実際の作業時は小さくなりがちなこと,および,システムによる開発タスク計測を継続することで開発者が自らの作業量を正しく把握できるようになることが分かった.また,計測によるソフトウェア開発プロセス改善のノウハウをガイドラインとしてまとめるために,開発企業にヒヤリングを行い,タスク定義のノウハウや,システム利用によって得られた知見を整理した.例えば,(1)社内における開発者の役割と計測結果から得られた開発者の実施タスクとのズレを明らかにしてプロセス改善につなげる,などの事例をガイドラインにまとめた.

J. イーワート ₍₁₎ ソフトウェア開発	₍₂₎ プロセス改善	₍₃₎ 見える化	(4) 自動計測
(5) メトリクス	(6)	(7)	(8)
. 現在までの達成度			
(区分)			
(理由)	±7.1.4.1.1		
24年度が最終年度であるため、	記入しない。		
へ後の理察の批准大等			
. 今後の研究の推進方策			
(今後の推進方策) 24年度が最終年度であるため、	記入しかい		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			

13.研究発表(平成24年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(2)件 うち査読付論文 計(2)件

著 者 名			論	文	標	題					
Akito Monden	Customizing GQM Model	s for Software	e Projec	ct Moni	itoring						
雑誌名		査読の有無		巻	ļ			発行	ī年		最初と最後の頁
IEICE Transactions on Information and Systems		有	Vol	I.E95-I	D, No.	9	2	0	1	2	2169-2182
	掲載論文のDOI(デジタ	アルオブジェク	小識別-	子)							
なし											

著 者 名			論	文 標	題					
Masateru Tsunoda	Analyzing Risk Factors A	Affecting Proje	ect Cos	t Overrun						
雑 誌 名	•	査読の有無		巻			発行	釬		最初と最後の頁
Software Engineering, Artificial Intelligence, Netw. Parallel/Distributed Computing 2012 (Studies in C Intelligence)	orking and Computational	有		Vol.443		2	0	1	2	171-184
	掲載論文のDOI(デジク	タルオブジェク	ト識別·	子)						
なし										

[学会発表] 計(2)件 うち招待講演 計(1)件

発 表 者 名	発	表	標	題	【発表確定】
門田 暁人	:リーダーとメンバーに役に ブのノウハウ〜	立つ	ソフトウ	ェアメ	トリクス 〜今あるデータを有効に活用するリポジ
学会等名	発表年月日				発表場所
Embedded Technology West 2012(招待講演)	2012年06月15日	イン	テック)	ス大阪	

発表者名			発 表 標 題 【発表码	確定】		
Masateru Tsunoda	Analysis of A	Attributes Relating to	Custom Software Price			
			•			
学会等名	*	発表年月日			長場 所	
International Workshop on Empirical Software Eng Practice	Jineering in	2012年10月27日	大阪大学中之島センター	-		
〔図書〕 計(0)件						
著者名			出版社			
						_
	書 名				発行年	総ページ数
					i i i	
					<u>i i i </u>	
14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況						
[出願] 計(0)件						
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号		出願年月日	国内・外国の別
〔取得〕計(0)件						
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号		取得年月日	国内・外国の別
	15.73	.2.31		T		
					出願年月日	1
						1
	-	•	•	•		-

1	5	4	焟	尹

http://taskpit.jpi	開発行動記録シ
n.org/	ステム TaskPit